



平成 29 年 2 月 10 日

各 位

上場会社名 株式会社 新 川
 代 表 者 代表取締役社長執行役員 長野 高志
 (コード番号 6274 東証第一部)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員
 経営企画部長兼経理部長 森 琢也
 (電話番号 042-560-4848)

営業外収益の計上ならびに平成 29 年 3 月期通期連結業績予想 および配当予想の修正（無配）に関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間における営業外収益の発生、ならびに平成 28 年 11 月 7 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期の業績予想、および未定としていた配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

当社は、平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、為替差損 451 百万円を計上していましたが、その後の為替相場の変動により、第 3 四半期連結会計期間では、為替差益 527 百万円が発生しましたので、第 3 四半期連結累計期間においては、76 百万円の為替差益を営業外収益に計上していません。

上記の金額は、主に平成 29 年 3 月期第 3 四半期末時点での為替相場による評価替えで発生したものであり、今後の為替相場の状況によりこの額は変動します。

2. 業績予想について

(1) 平成29年3月期通期連結業績予想値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------|---------------|------------|------------|-------------------------|----------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 百万円 17,300 | 百万円 410 | 百万円 220 | 百万円 100 | 円 銭 5.50 |
| 今 回 修 正 予 想 (B) | 16,400 | 240 | 370 | 160 | 8.80 |
| 増 減 額 (B-A) | △900 | △170 | 150 | 60 | — |
| 増 減 率 (%) | △5.2 | △41.5 | 68.2 | 60.0 | — |
| (ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期) | 12,662 | △1,035 | △1,444 | △1,849 | △101.75 |

(2) 修正の理由

顧客の投資計画が一部先送りとなったことから、売上高および営業利益が前回想定より減少する見込みとなりました。一方で、近時の為替相場の変動により、上記の通り為替差益を計上したことから、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が増加する見込みとなりました。

なお、想定レートは 110 円/ドルです。

3. 配当予想について

(1) 平成29年3月期期末配当予想の修正について

| | 年間配当金 | | |
|---------------------------|--------|------|------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前 回 予 想 (平成28年5月13日発表) | | 未定 | 未定 |
| 今 回 修 正 予 想 | | 0.00 | 0.00 |
| 当 期 実 績 | 0.00 | | |
| 前 期 実 績 (平成28年3月期) | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

(2) 修正の理由

当社は、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付け、安定配当の継続を基本方針としながらも、業績を反映した利益還元にも配慮していく考えです。

しかしながら、業績、財務状況および今後の収益構造改革への取り組みを総合的に勘案した結果、内部留保の充実を優先し、誠に遺憾ながら当期の期末配当予想を無配とすることとしました。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上